

2019年度 2月吉日

子ども家庭支援センターゆめわかば 保護者各位

子ども家庭支援センターゆめわかば  
園長 徳永 多江子

## 「放課後等デイサービス事業自己評価」(保護者向け) の結果について(報告)

日中の暖かさに春の兆しを感じるこのごろです。皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当法人の学齢期分野にて保護者による自己評価を実施いたしました。お忙し中、自己評価へのご協力いただきありがとうございます。

その中のほとんどの項目で、概ね高い評価をいただきました。「つながりのある活動をしている」、「親身に支援している」等、とても励みとなるご意見を寄せていただきました。

今後の課題事項に関しまして、職員配置数へのご意見が若干ありました。定員に対する職員数は満たしている状況にありますが、子ども一人ひとり対応が違うのでもう少し増員してはどうかのご意見があり、職員間で連携を図りながら安心、安全、そして「楽しい」活動につながるように考えていきます。次に放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもとの交流の機会について、「どちらでもない」の回答が多く寄せられました。公園や公共施設等がかかわる機会がありますが、特には、企画はしていない状況です。人とのつながり、かかわり等を考えた実践作りに取り組んでいきます。その他の回答に必ずしも必要ではないとのご意見もありました。保護者と連携し子どもの状態や内面理解を共有しながら検討していきます。それから、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているかについても若干のご意見がありました。当事業所では、定期的に吉野分遣隊署員の立ち合いによる「子ども家庭支援センターみらい」と共同で避難訓練を実施しています。昨今、地震や集中豪雨等の自然災害もありますので、避難に対する周知、説明をしていきたいと思っております。

これまで、保護者の方から普段できない体験ができることに評価の声をいただきました。成長していく子どもの姿を共に喜び、共に思いを寄せ合いながら伸び伸びと自分らしく過ごせる場となるよう職員一丸となって取り組んでいきます。貴重なご意見ありがとうございました。

2019年度 2月吉日

関係者各位

子ども家庭支援センターゆめわかば  
園長 徳永 多江子

## 「放課後等デイサービス事業自己評価」(事業所向け) の結果について(報告)

向春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所における「放課後等デイサービス自己評価」(事業者向け)について実施いたしました。率直なご意見等、ご協力いただきありがとうございました。

評価項目にある「環境・体制整備」、「業務改善」、「適切な支援の提供」、「関係機関や保護者との連携関係」、「保護者への説明責任等」、「非常時等の対応」について、改善すべき点や継続していくこと等、参考にしていき向上に努めていきます。

当事業所の第一の課題として、職員配置数について適切であるかについては、「どちらともいえない」、「いいえ」との回答でした。定員に対して人員は満たしていますが、状況によっては個別に対応する必要のある児童、活動内容においては人手が欲しい場合もあり、ゆとりのある配置ではないのは実情です。子どもの状態に応じて、職員体制を調整し安定した実践ができるように検討していきます。次に(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているかについて「どちらでもない」との回答が多くありました。この件に関しましては、昨年度と同様になりますが、地域自立支援協議会や関係機関等が主催する研修等には特定の人員参加になっている現状があります。しかしながら、必要に応じて関係機関との連携や研修等にも多くの職員が参加しているように調整していきたいと考えています。

職員の方々には、日々業務に追われる中で知恵を出し合い、連携をとりながらこの1年を事故もなく乗り越えることができました。保護者からの評価も高く「子どもがとても楽しみに通っている」、「保護者へ親身になって支援してもらっている」等の回答がありました。これも職員の方々のご尽力があつてのことと心から感謝しています。